

三条市水道事業ビジョンの達成状況 (令和4年度)

基本方針1 安全で安定した水道水の供給

1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は右表のとおりであり、いずれも計画を達成しました。

安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水源保全の啓発を行うとともに、水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めます。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実にを行い、施設の異常把握に努めました。

基本方針2 災害に対する強靱化の推進

1 水道施設の耐震化

老朽管の更新に併せて管路の耐震化を進めました。実績は前年度から0.6%上昇したものの、平成29年度以降、予定していた国等の関連工事が減工となったため計画未達が続いておりますが、限りある財源の中で計画的に耐震化を進めてまいります。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路の耐震化率 (%)	12.1	11.2	△0.9

2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、前年度に引き続き日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携を含め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施いたしました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕・弥彦総合事務組合、加茂市、田上町、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

基本方針 3 健全な事業運営の持続

1 計画的な施設の更新

管路更新延長は右表のとおりであり、今年度は、将来の効率的、効果的な管路更新計画の策定を優先したことで管路更新は計画未達となりました。

浄配水施設の長寿命化については、今後決定している企業団からの受水量の増加を見据え、引き続き、適切な維持管理に努めてまいります。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	4.3	3.5	△0.8

2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を下回りました。引き続き、収納率の向上に努め、未納者に対しては、納入相談等により納付意識の向上に努めてまいります。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.83	98.72	△0.11

3 経営の効率化

経営の効率化の指標については、有収率が計画値を下回りましたが、その他の項目は、目標を達成しました。有収率減少の主な要因は、給・配水管等の老朽化による漏水などの無効水量のほか、凍結に係る減免、消防用水などの無収水量が対前年比で増加したことと考えております。

今後もコスト削減等による経営の効率化を進めるとともに、漏水箇所の早期発見・早期修繕を実施し、有収率の向上を図ってまいります。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	28	27	△1
営業収支比率 (%)	95.29	98.30	3.01
経常収支比率 (%)	97.00	101.46	4.46
有収率 (%)	90.79	88.09	△2.7

基本方針 3 健全な事業運営の持続

4 事業運営体制の強化

外部研修については、計画を上回る参加実績がありました。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	10	4

投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

投資計画

今年度は、将来の効率的・効果的な管路更新計画の策定を優先したことで、更新費用(工事件数)を縮小しましたが、その他建設費用については、計画どおり実施しました。

(千円)

区 分	令和4年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
更新費用	浄水施設費	14,000	0	△14,000
	配水管布設替工事費	500,000	403,103	△96,897
		514,000	403,103	△110,897
その他建設費用	配水施設設置工事費	5,000	10,409	5,409
	配水管布設工事費	30,000	32,691	2,691
	消火栓施設費	10,000	10,019	19
	固定資産購入費	4,000	4,044	44
		49,000	57,163	8,163
計	563,000	460,266	△102,734	

給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口、年間有収水量とも計画値を上回りました。今後も給水人口の減少に伴い、使用水量の減少が続くことが見込まれますが、有収水量の確保に努めてまいります。

区 分	令和4年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	92,857	92,962	105
年間有収水量(千m ³)	11,295	11,658	363

収益的収支

収入については、給水人口及び年間有収水量が計画値を上回ったことで、営業外収益が計画を下回ったものの、料金収入は計画値を上回りました。

支出については、三条地域水道用水供給企業団の受水費単価の見直し(平成30年度)による受水費の減額や支払利息の減額等により、全体として計画値を下回りました。

結果として、損益は29,156千円の黒字となり、計画値を上回りました。

(千円)

区 分	令和4年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
収 入	1 営業収益	1,749,280	1,799,977	50,697
	(1) 料金収入	1,722,283	1,774,409	52,126
	(2) その他	26,997	25,568	△1,429
	2 営業外収益	104,340	94,883	△9,457
	(1) 他会計繰入金	1,528	1,960	432
	(2) 長期前受金戻入	62,488	61,014	△1,474
	(3) 水道加入金・その他	40,324	31,909	△8,415
	3 特別利益	0	2,847	2,847
	計 (A)	1,853,620	1,897,707	44,087
	支 出	1 営業費用	1,835,392	1,831,103
(1) 人件費		134,483	138,235	3,752
(2) 物件費		1,116,117	1,127,101	10,984
(うち受水費)		825,251	781,183	△44,068
(3) 減価償却費ほか		584,792	565,767	△19,025
2 営業外費用		75,495	36,467	△39,028
(1) 支払利息		74,565	35,882	△38,683
(2) その他		930	585	△345
3 特別損失		500	981	481
計 (B)		1,911,387	1,868,551	△42,836
損益(A) - (B)	△57,767	29,156	86,923	
利益剰余金残高	985,726	1,531,996	546,270	

資本的収支

建設改良費を翌年度に繰り越したことにより、関連する企業債、工事負担金が減額となり、全体の差引不足額は計画値を下回りました。

なお、内部留保資金残高は計画値を上回り、増加傾向にあります。

(千円)

区 分		令和4年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収	1 企業債等	424,000	232,000	△192,000
	2 出資金・補助金	0	0	0
	3 工事負担金・その他	80,467	64,449	△16,018
入	計 (A)	504,467	296,449	△208,018
支	1 建設改良費	645,629	525,465	△120,164
	2 企業債償還金	183,457	185,141	1,684
	3 災害復旧債償還金	0	0	0
出	計 (B)	829,086	710,606	△118,480
差引不足額 (A) - (B)		△324,619	△414,157	△89,538
内部留保資金残高		2,216,267	2,688,690	472,423

令和4年度における水道事業ビジョンの総括

主要事業計画に掲げた事業は、概ね計画どおりに実施しましたが、管路更新延長及び水道施設の耐震化は計画値を下回ることから、引き続き、他事業との調整を密にするとともに、管路更新計画や水道事業ビジョンに基づき計画的な更新に努めてまいります。

経営状況については、給水人口や節水機器の普及等により水需要が減少傾向にあります。給水人口及び年間有収水量とも計画値を上回りました。

また、収益的収支の損益（純利益）では、計画値を上回ったことから、概ね良好な事業運営ができました。

引き続き、「水道事業ビジョン」で設定した基本理念及び基本方針に基づき、定員適正化等による徹底したコストの削減、漏水の早期修繕等による有収率の向上、老朽配水管等の計画的な更新、施設の長寿命化等に取り組み、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。